

学校法人 松樹学園

# 信州介護学校通信

第6号 平成26年12月発行

## 地域交流行事「そば打ち交流会」

シルバー人材センターとの連携

信州そばアカデミー様のご指導で貴重な体験となりました！



学科長 岡田千秋

11月20日(木)、塩尻地域シルバー人材センターの皆様をお招きし、NPO法人信州そばアカデミーの名人6名の方からご指導を受け、そば打ち体験をしました。

地域の方々との交流の機会をできるだけ増やしていこうと、今年度企画した取組みで、信州そばアカデミー赤羽章司理事長ほか5名の名人の方から実演とご指導をいただきながら、地域の元気な高齢者の方々との交流を図る貴重な機会となりました。



お元気で意欲的なセンター会員の方々に触発され、初めは緊張していた学生たちも次第に打ち解け、共同作業としてのそば打ちは、和気藹々とした雰囲気にも包まれ進められました。名人による妙技を間近で拝見できるだけでも楽しみだと心待ちにしていたところ、さらに今回は信州でも貴重といわれる「ヒスイそば粉」が使われ、文字通り美しい翡翠色のそばが約60人分も作られたことに、一同感激いたしました。

打ち立ての香り高いそばをみんなで十分堪能したあとは、ご参加いただいたセンターの皆様と学生が4つのグループに分かれ、懇談の場を持ちました。

元気の秘訣やセンター活用のきっかけ、仕事の内容などについて、学生からの質問にもわかりやすくお答えいただきました。また、介護福祉士を目指す



学生に対しても、求められる介護への期待や学校への要望などにも話題が及び、学生にとって貴重なひとときとなりました。

学生達が地域の方々との交流を通して、コミュニケーション力を高め、向かい合う相手の思いに共感し寄り添う姿勢を身につけることができたらと、今後このような機会をできるだけ設けていきたいと思っております。地域の一員としての学校の果たす役割にも再度目を向け、開かれた学校づくりに努めて参ります。ご意見ご要望などございましたら、お聞かせいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

### message

塩尻地域シルバー人材センター  
専務理事・事務局長 酒井 正文 様



当センター本年度事業計画の重要な柱のひとつであります貴校との「そば打ち交流会」が開催され、平均年齢73～5歳の会員16名は、介護福祉を専門に学ぶ学生の皆さんと共に、そば打ちやグループでの話し合いをする中で交流の輪が広がり、若い世代との触れ合いを通し、得るものが多くありました。

これからも地域社会との交流の中で会員の幅広い知識や経験で貴校との接点を広げ、お互いが理解し助け合いながら世代間交流に関わる事業展開を図りたいと考えております。



## 介護の日in信州介護2014 ~共にはぐくむ笑顔の輪~ ご来場ありがとうございました!

専任教員 芝田 由佳

今年で4回目となりました「介護の日」のイベントが、11月8日(土)に開催されました。

今年は「～介護は心～共に育む笑顔の輪」をテーマとし、準備段階から学生が主体的に取り組み、介護福祉士養成校として地域の方に介護を知っていただけるように企画してきました。



日頃の学習の成果をまとめた「パネル展示」。今回は「介護予防」を大きく取り上げ、パネルを全員で作成し、当日は学生が説明を行いました。

介護食コーナーは、キッセイ薬品工業様の協力を得て、介護食の展示、高カロリーゼリー等の試食、試供品提供を行いました。



介護教室では、「家庭浴・特殊浴槽の入浴方法」「簡単にできる床からの立ち上がりの介助方法・腰痛予防対策」として、介護上のワンポイントを来場者



の方と実演しました。また、手浴・ハンドマッサージのコーナーでは、何度も練習を重ねた手技を披露し、好評を得ました。チャリティーバザーでは、地域の方をはじめ、保護者の皆様、また関連法人や学生から多くの品を提供して頂きました。募金と合わせて43,004円となり、塩尻市社会福祉協議会を通して、災害支援に役立てて頂くことといたしました。ご協力ありがとうございました。豚汁の振る舞いでは、前日から仕込み、本校特製の美味しい仕上がりとなりました。皆様に喜んで頂けたかと思えます。学生が各係に分かれ、自分の役割を果たしていくこと、仲間との関係を築いていくうえで貴重な体験となったと思えます。

今後地域の皆様と学生と「共に育み」、介護を支えコミュニティ形成の「輪」を広げるために努めて参りたいと思えます。

### message

卒業生

和木 義嗣 様  
中村 美咲 様

私達は、信州介護福祉専門学校5期生として卒業し、関連法人敬仁会、平成会へそれぞれ就職いたしました。



そして私事ではありますが、この度結婚することになりました。二人の間には今新しい命が宿っています。「生きる」ということに真摯に向き合い歩みを進めて行きたいと思えます。

また、学校で学んだ“接遇”を常に忘れず、人生のあらゆる場面に生かしていきたいと思えます。



### message

保護者 牛越 貴子 様

元々無口でおとなしい性格の息子ですので、人と接する介護福祉士になれるか心配もありましたが、この学校



で「接遇」を学ぶ中で人としてどうあるべきか、社会人としてどうあるべきかということに身に付けていけたように思います。先日も偶然お会いした高校時代の恩師にその成長ぶりを喜んで頂きました。今後も接遇の教えを活かして欲しいと思えます。

学校関係者の皆様、実習先でお世話になった施設の皆様、全ての方々に感謝しております。

# 平成26年度 学校自己評価結果について

学校長 石田 茂



平成26年も年の瀬を迎えておりますが、皆様方にはどんな一年でしたでしょうか？

開校7年目を迎えた本校は、学生一人ひとりが求められる心豊かな介護福祉士になるための学びを深めるとともに、地域行事への参加や、高齢者の方々との交流を通じて多くの経験を積み重ね、それぞれに成長できた一年となったと感じています。

これも一重に保護者の方々をはじめ、地域や施設等の関係の皆様のご理解とご支援のお陰と心から感謝を申し上げる次第です。

さて、本校では、より良い学校運営と家庭、地域との連携による開かれた学校づくりを目指すことを目的に教職員による「学校自己評価」を毎年実施し、併せて評価の参考とするために学生による授業アンケート、学生アンケート及び保護者アンケートを行っていますが、本年10月に実施した今年度の結果についてその概要を報告させていただきます。

学校自己評価は、アンケート11分野全50項目の平均が4段階評価で3.22（前年度3.18）となっており、全体評価とともにいくつかの分野で評価値がアップしています。

分 野	評 価 値	分 野	評 価 値
1 教育理念・目標・育成人材等	3.47 (3.13)	7 学生募集と受入	3.45 (3.45)
2 学 校 運 営	3.04 (3.0)	8 財 務	3.05 (3.0)
3 教 育 活 動	3.29 (3.0)	9 法令等の遵守	3.32 (2.96)
4 教 育 成 果	3.07 (3.4)	10 社 会 貢 献	3.40 (2.90)
5 学 生 支 援	2.93 (2.98)	11 意見要望の把握及びその活用	3.0 (2.30)
6 教 育 環 境	3.40 (3.13)	全体平均評価	3.22 (3.18)

※（ ）内は25年度数値

ご覧のように、全体として学生教育に直接かかわる分野を中心としておおむね良好な評価を得ていますが、その中で「5学生支援」は学生寮がないことから3を下回るやや低い数値となっています。

自己評価の参考とするため、併せて行った各アンケートの満足度（よくあてはまる、まあまああてはまる）は、授業アンケート59.0%（前年度68.0%）、学生アンケート81.9%（前年度86.6%）、保護者アンケート90.5（前年度92.6%）と前年度と比べ横ばい傾向であり、全体的にはおおむね良好な状況となっていると受けとめています。



今後も、改善すべき課題に真摯に取り組み、学生及び保護者の皆様方の満足度のアップが図れるよう、教職員の共通認識を得ながらより良い学校運営に努めてまいりますので、皆様方の一層のご理解とご支援をお願いいたします。

来たる平成27年が皆様方にとって、より良い年となりますよう心からご祈念申し上げます。



### 玄蕃まつり

7月26日、塩尻玄蕃まつりに参加しました。5月から踊りの練習を始め、全員協力のもとに台車の飾り付けやポロシャツのぼりを作成しました。



踊りの後半は法被の片袖を脱ぎ、揃いの赤いポロシャツを披露。惜しくも賞は逃しましたが、達成感のある一日でした。



### ハッピーハロウィンinしおじり

10月25日、塩尻市のハロウィンイベントがありました。今年も学校前のブースでお菓子を配り、いたずらスプーキーに扮した学生と子供たちがじゃんけんをする企画にスタッフとして協力しました。思い思いのメイクや仮装で楽しむことができました。1年生は、学生ホールにハロウィンの装飾をしてイベントを盛り上げました。



### 公開講座

10月23日、地元大門三番町と共催で『運動機能の向上で介護予防～あなたは大丈夫ですか？骨・関節・筋肉の力～』をテーマに公開講座を開催しました。講師は安曇野市・松本市の介護予防教室でご活躍中の奥原いずみ先生。動きとユーモアのある講演で、あっという間の2時間でした。



### 国際福祉機器展

10月3日、東京ビッグサイトで開催された国際福祉機器展を2年生が見学してきました。最新の福祉用具が展示されていたため、電動車いすの試乗などを通して、改めて自立支援について考える良い機会となりました。更に、介護者としての立場だけでなく、利用者の立場で「自立」を考えることができ、多くを学び取ってきました。



### 上級救命講習会

11月18日、上級救命講習会を2年生が受講しました。卒業後に介護福祉士として現場で勤務することを意識し、高齢者や利用者の異常や急変に遭遇する可能性があるという自覚を持つよう、心肺蘇生法やAEDの使用法を学びました。実技講習では、真剣に挑み、学生間で何回も練習を行い、実技試験に挑みました。結果、全員が修了証を取得しました！



### 関連法人

医療法人社団 敬仁会



介護老人保健施設 萌生の里

社会福祉法人 平成会



グループホーム さわらび

### 姉妹校



学校法人 松樹学園

信州リハビリテーション専門学校

### 編集後記



今年は、地域交流行事の新たな取り組みとしてそば打ち交流会を開催するなど、本学の教育目標のひとつでもあります「開かれた学校づくり」にまた一歩前進できた一年となりました。学生たちにとっても、地域の元気な高齢者の方と一緒に活動し、直接話を聞いたことは、今までにない貴重な体験になったことと思います。

来年も教職員一同力を合わせて教育活動に励んで参りますので、皆さまご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

新しい年が、皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう、お祈り申し上げます。

学校法人 松樹学園

信州介護福祉専門学校

〒399-0733

長野県塩尻市大門三番町4番24号

電話：0263-87-0015

Fax：0263-87-0016

http://www.shinshu-kaigo.ac.jp/